

令和5年度第1回小牧市スポーツ推進審議会会議録

1 開催日時 令和6年2月7日(水)
午後2時00分～午後3時15分

2 開催場所 小牧市役所 東庁舎4階 本会議用控室

3 出席者及び欠席者

(出席委員) 9名

会長	長尾 英俊	(公財)小牧市スポーツ協会副会長
委員	前田 成明	(公財)小牧市スポーツ協会競技委員長
委員	花井 忠征	中部大学副学長
委員	野田 幹広	中小体連小牧支所代表
委員	舟橋 巧	小牧南スポーツクラブ役員
委員	宮地 久美枝	小牧市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
委員	宮崎 加代	小牧市体操連盟理事
委員	高島 昇	市民公募委員
委員	河邊 文雄	市民公募委員

(欠席委員) 1名

委員 黒田 真二 名古屋造形大学講師

(事務局)

健康生きがい支え合い推進部長	江口 幸全
健康生きがい支え合い推進部次長	落合 健一
文化・スポーツ課長	藤田 伸也
学校教育課指導主事	高堀 文男
事業推進係長	高橋 洋平
施設運営係長	大橋 誠司
事業推進係主事	永田 脩祐

(小牧市スポーツ協会)

事務局長	井上 武
事業担当次長	青山 寿彦
事業係長	舟橋 雅樹
ジュニア育成指導員	中谷 直

4 傍聴者 3名

5 会議の内容

(1) 議事

- ア 令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- イ 令和6年度教育委員会基本方針重点施策について

6 会議の資料

- (1) 令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（資料1）
- (2) 令和6年度小牧市教育委員会基本方針（資料2）
- (3) 令和5年度スポーツ教室実施状況（参考資料1－1・2）
- (4) 令和5年度地域スポーツ活動実施状況（参考資料1－3・4）
- (5) 令和5年度こども対象スポーツ教室実施状況（参考資料1－5・6）
- (6) 小牧市の中学校部活動の現状（参考資料1－7）
- (7) 小牧市の中学校文化部活動の現状（参考資料1－8）
- (8) 令和5年度小牧市民スポーツ教室（参考資料）
- (9) ジュニア育成活動（参考資料）
- (10) V i V a !スポーツクラス（参考資料）

7 議事内容

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

只今から、令和5年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を開催いたします。私は、本日の司会進行をつとめます文化・スポーツ課長の藤田です。よろしくお願ひします。

本日の会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開としております。本日の傍聴人は、3名でございます。

また、本日は、黒田委員より欠席の連絡をいただいております。

本日は、9名のご出席をいただいておりますので、規定により会議は成立しております。

また、本審議会の事務局は、文化・スポーツ課でございますが、本日は、関連の学校教育課が出席をしております。また、オブザーバーといたしまして、小牧市スポーツ協会が出席しておりますので、ご承知おきください。

出席者につきましては、恐れ入りますが、本日お配りさせていただきました座席表をご参照いただきたいと思います。

本日の資料につきましては、あらかじめお送りさせていただいておりますが、お持ちでない方はおられますでしょうか。

それでは、資料の確認をさせていただきます。机上に配布させていただきました次第の他、事前に郵送させていただいた資料1、資料2、参考資料1－1から1－8、市民スポーツ教室開催要項、ジュニア育成事業・V i v a !スポーツクラスのパフレット、またご持参いただいた小牧市教育振興基本計画の冊子となります。

資料2につきましては、お手元に配布させていただいたものと、差し替えをお願いしたいと思います。

お手元の資料に不足はありませんでしょうか。

それでは、最初に、健康生きがい支え合い推進部長の江口から、挨拶を申し上げます。

[江口健康生きがい支え合い推進部長]

皆様こんにちは。健康生きがい支え合い部長の江口です。本日は大変お忙しい中、本審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今年度は、コロナ禍前のスポーツ活動の状況を取り戻すべく、さまざまなイベントや行事を再開してまいりました。

スポーツのイベントで言いますと、先月行われたシティマラソンにつきましては、昨年度は参加資格を市内限定とし、規模を縮小して開催しておりましたが、今年度は市外の方にもご参加いただきコロナ禍前同様に開催することができました。多くのランナーが笑顔で市内を走る様子がとても印象的な大会でありました。

また、大規模スポーツイベントとして、アジア競技大会が令和8年の秋に予定されており、本市のパークアリーナ小牧ではバレーボールの競技が予定されています。その関係で、令和8年の夏ごろから一般利用ができなくなる期間が生じる予定となっております。

スポーツ施設では、さかき運動場にてフットサル兼テニスコートの整備を行っており、令和6年度早期の供用開始を目指しております。

今後につきましても、スポーツをとおして市民の皆様が生きがいと健康を得られるよう、スポーツ環境の整備に努めていく必要があると考えております。

さて、本日の議題ですが、「令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」、「令和6年度教育委員会基本方針重点施策について」でございます。皆様から忌憚のないご意見を伺い、本市のスポーツ行政の推進を図ってまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

それでは次第2の「議事」に移ります。「議事」の進行につきましては、規定により、会長が会務を総理することになっておりますので、長尾会長、よろしくお願いいたします。

[長尾会長]

小牧市スポーツ協会、副会長をしております。長尾と申します。

今、部長からありましたように、スポーツの推進について責任を感じつつ、年に多くない会でありますので、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

それでは、議事に入りたいと思います。

はじめに、(1)「令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」、事務局より説明いただきたいと思います。

[事務局]（高橋事業推進係長）

資料1の1ページをご覧ください。

最初に、この点検評価と教育委員会基本方針重点施策について簡単に確認をさせていただきますと思います。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価につきましては、「地方

教育行政の組織及び運営に関する法律」において、毎年、点検及び評価を行い、結果に関する報告書を作成し、議会への提出、公表が規定をされています。

本市では、平成29年3月、「小牧市教育振興基本計画」として、平成29年度から令和8年度までの10年間の計画を策定し、令和3年度の間見直しを経まして、令和4年度から令和8年度の計画を現在進めています。

基本計画にある事業から、年度ごとに重点施策を選定し、分野ごとに設置された審議会等で点検評価を実施していただきます。

それぞれの審議会等でいただいたご意見等を反映した実施状況は、最終的には基本計画の評価委員会ですべての事業とあわせて点検評価がされるという流れとなっております。

この審議会では、文化・スポーツ課の所管するスポーツに関連する基本目標6について、ご意見を願いますので、よろしくお願いいたします。

資料を1枚おめくりいただき、2ページをお願いします。

基本目標6の評価指標の推移になります。こちらについては、お手元の小牧市教育振興基本計画の冊子の81ページにも、同じ指標と目指す方向性について記載がされています。この指標は小牧市教育振興基本計画の施策・取組の総合的な成果を測定するものとして位置づけ、取組の進捗状況と合わせて定期的に確認することで、その結果を市政の継続的な改善・向上に生かしております。

指標についてですが、令和5年度については、まだ実績が出ておりませんので、今回は令和4年度までお示しさせていただきました。

なお、令和4年度につきましては市民意識調査を行っておりませんので、一部指標については実績を記載しておりません。

健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数につきましては、温水プールで開催しておりました教室が温水プール休館のため中止となった関係で、参加者数が大きく落ち込んでいます。その他、コロナの影響もあり、コロナ禍以前の数値に戻りきれない数値もありますが、目標値を達成できるように、それぞれの事業を推進していく必要があります。

続いて3ページをお願いします。

この表は、該当の令和5年度の基本方針重点施策の一覧になります。基本目標6として、5つの取組を掲げております。

それでは、その取組を個別にご説明させていただきます。

4ページをお願いいたします。

「基本目標6、誰もが参加できるスポーツ活動の展開」の具体的な取組として、施策25「スポーツ教室の開催」です。

内容としましては、小牧市スポーツ協会等と連携して、各種スポーツ教室を開催し、市民がスポーツに親しむ機会を提供しました。こどもを対象とした事業は、後ほど別の施策の中でご説明させていただきます。実施状況の詳細につきましては、参考資料の1-1、1-2をご覧ください。

参考資料1-1をご覧くださいと、スポーツ協会主催の卓球教室や市主催のいきいきシルバースポーツ学級においては、定員いっぱいの状況であります。その他の教室においては、定員に余裕がある状況です。

スポーツ協会主催のランニング教室については近年、参加者が少ないことから、令和6年度からは、だれでも気軽に参加できるミニランポリンの教室に変更して開催をしていく予定です。

参考資料1-2をご覧くださいと、教室全般にわたり若年層の参加者が少ない状況がわかります。今後、若年層や新規参加者を増やしていくため、LINE等のSNSを活用して、スポーツ教室の情報を発信し、参加者を増やしていきたいと考えています。

続きまして、5ページをお願いします。

施策25の「地域スポーツ活動の推進」です。

内容としましては、各地域のスポーツ振興会等が実施する事業の助成や、スポーツ教室の開催委託を行うことで、地域住民がスポーツに親しむ機会の提供を行いました。実施状況の詳細につきましては参考資料の1-3、1-4をご覧ください。

参考資料1-3において、参加人数の欄が空欄になっているものは、未完了の事業のため、現時点で集計ができていないものになります。

参考資料1-4において、令和元年度は約25,000人の方が地域スポーツ活動にご参加いただいておりますが、コロナ禍によって令和2年度から各地域での活動が落ち込んでいる状況です。

今年度におきましては、昨年まで中止としていた事業が各地域で開催されており、未完了事業の想定参加人数を加味すると、昨年度以上の参加者数が見込まれております。

また、各地域住民がさらにスポーツに親しみを持ってもらえるよう、スポーツ推進委員と連携して、だれでも気軽に実施できる「ニュースポーツ」の普及を図っていききたいと考えています。

続きまして、6ページをお願いします。

施策26の「こども対象のスポーツ教室の開催」です。

内容としまして、親子ふれあい体操教室や小牧市スポーツ協会主催のジュニア体操教室などを開催し、こどもたちが楽しくスポーツに親しむ機会を提供しました。実施状況の詳細につきましては、参考資料1-5、1-6および、参考送付した小牧市民スポーツ開催要項、ジュニア育成事業・Viva!スポーツクラスパンフレットをご参照ください。

参考資料1-5をご覧くださいと、こども対象のスポーツ教室の実施状況を一覧で記載しております。スポーツ協会において、元オリンピック選手の寺本明日香さんを講師とするジュニア体操教室を開催しており、表には記載がありませんが申込者数は定員の倍ほどの回もあり、好評を得ております。

また、市におきましても、小牧市スポーツ推進委員連絡協議会との共催にて、「わいわいキッズNewスポーツフェスタ」を昨年度から開催しています。これ

は、ニュースポーツをアレンジした種目を実施し、気軽にスポーツに触れてもらうことで、こどもたちにスポーツへの興味を持ってもらうことを目的としています。

今後につきましても、こどもたちに楽しくスポーツに取り組んでもらえる機会を引き続き提供していくとともに、長期的な教室であるジュニア育成事業やスポーツ協会加盟団体主催のスポーツ教室等の周知を行い、こどもたちのニーズに合った受け皿となっていけるように努めていきたいと思っております。

続きまして、7ページをお願いいたします。

施策26の「地域部活動の検討」についてです。

少子化の中でも、将来にわたって小牧市のこどもたちが文化・スポーツに継続して親しむことができる機会を確保することをねらいとし、学校部活動の地域連携・地域移行のあり方を検討するため、モデル校情報交換会を開催しました。

生徒数の減少に伴い、市内では部活動数が減少傾向にある学校も見られます。参考資料1-7、1-8をご覧ください。令和5年度の各学校部活動の設置状況と参加人数の一覧となっています。

生徒数減少傾向の中、令和5年度は小牧中、桃陵中を拠点校とし、参加したい部活動が在籍校に設置されていない場合に、その部活動のある学校を拠点校とし、拠点校の部活動に参加できるようにする「拠点校部活動」に取り組みました。

バスケットボール部を設置していない篠岡中学校の生徒が、拠点校である桃陵中学校のバスケットボール部の活動に参加し、夏の中学校大会にも参加することができました。

令和6年度は拠点校を小牧中、桃陵中の2校から、小牧西中、篠岡中、光ヶ丘中の3校を加えた5校に拡大する予定です。小牧中、小牧西中のエリア、桃陵中、篠岡中、光ヶ丘中のエリアにおいて、地域連携のあり方について検討を進めていきます。具体的には、今後予定をしております部活動検討委員会にて話し合いを進めていく予定です。

[事務局] (大橋施設運営係長)

8ページをお願いします。

基本目標6、施策28「市民のスポーツ活動を支える環境整備」です。

多様化するニーズに対応するため、さかきテニスコート駐車場横の土地を整備して、夜間照明を備えたフットサル(兼用テニス)コートを2面整備します。なお、コートの素材についてですが、人工芝については、抜け落ちた芝が川をとおして海に流入することが想定され、海洋プラスチックの問題の原因のひとつとなることから、ゴムチップウレタンの弾性舗装を採用することとしました。工期については令和5年度末までとしており、令和6年度の早い段階での供用開始を目指します。

また、多目的コートの料金設定については、小牧市のスポーツ施設料金を基に算出し、他市町の類似施設の料金も参考にして検討を行いました。

以上簡単ではございますが、令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価についての説明とさせていただきます。

[長尾会長]

はい、事務局から説明が終わりました。

時間の限りもございますので、順を追って、評価指標等につきまして、何かご意見・ご質問はございませんか。

[花井委員]

この基準値というのは、何の数値なのか、あるいは何を元にして算出されているのか教えていただけますか。

[事務局]（高橋事業推進係長）

教育振興基本計画の基準値ですが、平成30年度の実績値を基準としております。目標値につきましては、具体的な数値で示させていただいたものもありますが、目指す方向性ということで上向き矢印で示させていただいた項目もあります。

[花井委員]

平成30年度の実績ということですか。

[事務局]（高橋事業推進係長）

はい、そうです。

[花井委員]

ということは、すごい実績だったんですね。例えば「市が管理するスポーツ施設の年間利用者数」が、98万8千、約100万人あったわけで、すごい数値で、小牧市の人口は15万くらいですから、本当にすごい取組をしていただいている。ぜひ今後もがんばって取り組んでいただきたい。

[野田委員]

目指す方向性は、素晴らしいなと思うのですが、世の中の経済等の状況、定年延長などを考えると、余暇をどれだけ善用できるかという、そこにも何らかのヒントになるのではないかと考えます。本当に余裕があるのか、ないのかというような意識調査をして、その中で余暇をスポーツに向けていただくということになる。おそらく難しい状況になるのではないかと思います。

[舟橋委員]

評価指標の中で、上から3番目の「健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数」が、あまりにも低い。コロナの影響なのか、その他にも原因があるのか

教えていただきたい。

[事務局] (高橋事業推進係長)

根本的な理由は、基準値が平成30年度のコロナ禍前であり、令和2、3年度はコロナ禍の影響が大きかったと考えております。

それ以外として、「健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数」にカウントした数値ですが、温水プールで開催しておりましたアクアビクス教室と水泳教室が、令和4年度は温水プールの休館によって中止となっております。これも減少の一つの要因となっております。今後は、温水プールがどのようになるのかも含め、検討していきたいと考えています。

「指導者を対象とした研修会などへの参加者数」は、令和3～4年度につきまして減少しておりますが、2年に1回開催しているスポーツ推進委員のAED講習が、令和3年度はカウントされていません。それ以外の主な理由は、毎年開催していますラジオ体操指導者講習会の参加者が、令和3年度は79名であったのに対し、令和4年度は43名に減少しています。参加者増加につながるよう取り組んでいかなければならないと考えています。

[河邊委員]

参考資料の1-2の「スポーツ教室参加者年齢層」ですが、40代～70代の方に参加いただいていることが分かりました。少子高齢化の社会で、こども会がスポーツ教室をやると、どうしても親が連れて行かなければならない。親の余裕がないとこどもが参加できない。小牧にはバスがありますから、ぐるっと回って拾えば参加できるのではないかなと思います。今、こども会は、どこも人数減で困っています。どうしても親はお茶くみをやらないといけないだとか、係はやりたくないという声も聞こえてくる。今、世の中はうまくできていて、民間でスタッフとかお茶くみとか運搬を全部やってくれる。もちろんお金はかかりますが、そういうところに丸投げと言いますか、親の負担を無くすように、全部スタッフがやりますから運搬の業務もいりませんというようなことを、小牧市で検討しているかお聞きしたい。

こどもの参加者が少ない。10代、20代が40代、50代まではいかないにしても、もう少し増えたらと思います。

[事務局] (高橋事業推進係長)

ご指摘いただいたのは、市のバスで送迎できないかということだと思いますが、様々な事業の中で運用しておりますので、それらも踏まえて検討していきたいと思います。

こどもについてのスポーツ教室は、資料1の6ページの「こども対象のスポーツ教室の開催」で、ご案内しております。

[長尾会長]

4 ページに進みます。

「令和6年度はミニトランポリン教室に変更します。」とありますが、このことについて説明していただけますか。

[事務局] (高橋事業推進係長)

ミニトランポリンにつきましては、誰でも参加できるニュースポーツの一つであることから、気軽に参加していただけるものと考え選定しています。

[宮崎委員]

ランニング教室は参加者数が少なかったということでしょうか。

[オブザーバー] (井上スポーツ協会事務局長)

ランニング教室というのは、生徒に指導するというよりは、ランニングを個人でやるという方が多いということもあって、なかなか参加者が増えなかったというのが実情でございますので、今回ミニトランポリンという形で変更させていただきました。

[花井委員]

若年層が学校に行っている層だとすると、これはまあ分かりますが、自分たちのところでやっている講座が、20代以後、30代のところへどうアピールするか。LINE、SNSと毎年書かれています。実際にどんな取組をして、情報発信して、効果検証されていますか。発信して終わっているとかではなく、やはりその発信で効果があるかということも考えながら取り組まないといけないと思います。発信したからいいだろうではなく、効果が表れているか検証されているかどうかも含めてお話を伺いたいと思います。

[事務局] (高橋事業推進係長)

効果検証についてですが、今年度からスポーツ協会の公式LINEを作成し、LINEでスポーツ教室などの情報を新たに発信するという取組を始めました。事業参加者へのアンケートを基に検証していきます。

[花井委員]

公式LINEの登録者数はどれくらいでしょうか。

[オブザーバー] (井上スポーツ協会事務局長)

スポーツ協会公式LINEの登録者数ですが、約430件です。

[長尾会長]

他の件で何かあれば。

[河邊委員]

温水プールは、今使えなくなっています。温水プールの今後についてお聞きしたい。

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

温水プールにつきましては、劣化等が確認されたということで、令和3年12月から休館とさせていただきます。

劣化調査結果に伴う現地調査等を実施いたしまして、この調査結果につきましては、ぜひホームページでご覧いただきたいと思っております。それから、耐震面に関わるのところも、基準値を満たしていないことが分かってきております。

改修費用をこの調査の中で、算出しましたところ、二十数億円ほどの改修費用がかかることが判明しました。

状況につきましては小牧市議会でもお答えさせていただいております。二十数億円の予算執行というのが、非常に費用対効果が悪いという議論がある中ですが、今後の温水プールの方針について検討中でございます。

[長尾会長]

5ページの「地域スポーツ活動の推進」について、ご意見はございませんでしょうか。

[特になし]

[長尾会長]

それでは、6ページの「こども対象のスポーツ教室の開催」について、ご意見はございませんでしょうか。

[宮崎委員]

6ページの「こども対象のスポーツ教室の開催」についてですが、親子ふれあい体操の教室をやっている者として少し気になります。2期10回制から3期8回制に変更しますということと、参考資料の1-5を見ると前期の定員が30人だったところの実績が60人になっており、状況がよく分かりません。また、後期も定員30人のところ、実績は36人になっており、すごく人気があるからこのようになっているのでしょうか。

また、実際1年間携わっていますが、少子化ということもありますし、2歳児になるとプレ保育や幼稚園も始まってしまう。母親達も復職されたり、1年通してというのがなかなか難しい状況になっているので、そういう状況も踏まえて親子ふれあい体操教室がどんな状況なのか教えていただきたい。

[事務局]（高橋事業推進係長）

まず、参考資料1-5の「親子ふれあい体操教室」の参加人数につきまして、

一番右の備考を見ていただきますと、定員が30組で親子そろって60人ということになります。従いまして前期は60人、後期は36人の方が参加されたこととなります。

また、「親子ふれあい体操教室」が3期8回制になることについてですが、「親子ふれあい体操教室」はコロナ禍前は、4期8回制の定員40組で開催しておりました。その後、コロナ禍に入り活動の制限がある中で、2期10回にさせていただきましたが、参加者の方々から10回は長いという意見を伺いました。そうしたことから、8回にさせていただきました。

組数については、本市の3歳児未満の保育料無償化等もあり、なかなかこどもの数がそこまでは集まらないことが想定されますので、3期8回定員30組という形でまず進めさせていただきます。今後の状況を見て、回数、組数等を検討していきたいと考えております。

[長尾会長]

直接携わっている委員から、要望や意見を伺えますか。

[宮崎委員]

年々親子で楽しくという機会が無くなりつつあるなど感じています。幼児期に触れ合える時間が少ないのが、寂しいなと思います。

[長尾会長]

7ページの「地域部活動の検討」についてですが、現状を教えてくださいか。

[事務局]（高堀学校教育課指導主事）

地域部活動につきましては、学校部活動の地域連携を検討するため、令和5年度に地域にモデル校を設置し、地域連携の取組を進めているところです。

令和4年度から部活動検討委員会を立ち上げたのですが、他の市町村で言いますと、土日の部活動を学校と切り離してという考え方があります。そうすると、地域で当然子どもたちの受け皿が必要となり、それが民間のスポーツクラブ、競技団体が考えられます。そうすると完全に離れるということは可能ですが、色々と検討委員会で検討する中で、なかなか一気に学校の部活動と切り離すということが、実際には難しいのかなということがあります。

学校と切り離して土日は地域でというのが一つの考え方ではあるのですが、現在ある部活動を維持しつつ、ただ、こどもが減っているのは確かですので、学校を超えて地域で連携していくという方法がないかということで、今モデル校を設定して検討しています。

色々な考え方があり、教員の働き方改革という視点もありますが、一気に地域でということが難しい中で、子どもたちの活動を確保していければということで、今検討しているところであります。

ただ何度もお話しするように、一つの学校で部活動を維持するのが、なかなか難しいところがあります。例えば、東部の地区で、その地区の学校の子どもたちを地域で見ることができないのか。西部の方も、それが小牧中と小牧西中になるのですけれども、考えられることはないのかということで、部活動検討委員会で考えています。

[長尾会長]

現状報告をいただきました。参考資料の1-7、1-8を見ていただきますと、各中学校の部活動の参加状況が挙げられております。

先ほどご説明の通り、まず小牧中と桃陵中が拠点校となり、さらに加えて篠岡中と小牧西中と光ヶ丘中が加わっていくというようになっていくのですね。

[野田委員]

今、市が、県や国がと言っていると、かなり時間がかかってしまう。例えば、サッカー協会は子どもたちの頃から、基礎を作って育成して伸ばしていこうとしている。そういった影響のある各協会や企業に受け皿を作ってもらうのも良いと思います。なかなか市も競技団体も予算化するのには難しいかとは思いますが。

[長尾会長]

それぞれの競技団体がジュニア育成活動をしておりますね。今お話があったのは、それらの競技団体に委ねる方法ということですね。

[野田委員]

例えばの話ですが。

[長尾会長]

例えば、バレーボール協会で小学校、中学校の部活動をみんな引き受けてやりましょうということでしょうか。

[野田委員]

例えばの話で競技団体に受け皿を作ってもらえればという話をしましたが、市町単位の各スポーツ協会で引き受けるのは、現実問題なかなか難しいと思います。国単位のようなところで行うことはできないのかと思います。

もう一つは、指導力のある企業などの力を借りること。市町の指導者も少ない状況です。指導者の中でも仕事が忙しく指導に当たれない場合や、大学生でも就職されたことで、もう指導に当たれないということがある。もっと大きな視点で考えていかないといけないかなと思います。

[長尾会長]

民間活力を踏まえてというような視点も必要だということですね。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

貴重なご意見として承ります。

[長尾会長]

文科省が部活動に関する方向付けを大分前に出しました。ところが、現実を踏まえたときに、机上の計算だけで進むのかというような意見があり、各地域の実情に合わせてというようなスタンスに、トーンダウンさせました。そういう経緯があるように理解しております。今の小牧の進め方というものが、現状に即応した進め方ではないかということで、事務局から報告がありました。

今言われたような、別の視点で捉えていくことも大切ですね。柔軟性を持った視点で物事を考えていただき、今のご意見も含め、可能性があることを見逃さずに検討を進めていただきたい。

[高島委員]

地域部活動の取組はすごくいいと思いますが、具体的に知りたいと思います。

今回、篠岡中学校のバスケットボールをやりたい子が篠岡中にバスケットボール部がないので、桃陵中学校の部活動に入るということでしたが、部活動のある日は、学校ごとに当然違うと思います。どういう調整をしているのでしょうか。土日だけのことなのか、平日だけのことなのか。休日のみの話であれば、平日は篠岡中の子は他の活動に所属しているのでしょうか。

また、移動もどのように行っているのか。保護者に任せているのか。そうすると責任の問題や、事故が起きた場合とか、様々なことをどうやっているのだろうと思いますが、具体的に教えていただきたい

今後の取り組みを見ると、小牧市内全体をこういう形にしていくのを目指してみえるのかなと思いますが、それはいつ頃を目指してみえるのかとか、もう少し詳しく教えていただきたい。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

篠岡中学校と桃陵中学校を例に、説明をさせていただきました。今、国が進めているのは、まずは休日の部活動を地域に移行していくというものであり、市としても、まずは休日の部活動をどうしていくか検討を進めています。

[高島委員]

この生徒は平日はバスケットボール部には入っておらず、他の部活動に入っているのでしょうか。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

そうです。この生徒が普段篠岡中でどの部活に在籍しているかまでは、確認が取れておりません。

[野田委員]

創作部です。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

ありがとうございます。

ですので、平日は違う部活でその学校の部活に参加をしています。本来はバスケットボールがやりたいという気持ちがある子でしたが、篠岡中にバスケットボール部がないので平日は創作部で活動しているということです。

土日は、基本的には保護者の責任の元でやっていただいているところで、けががあった場合は、学校の部活動に所属をしていますと、スポーツ振興センターの保険が適用されます。きちんと保険の部分を確認した上で活動していると思えますし、桃陵中と篠岡中で距離的には近いのですが、保護者の責任の元で活動しております。

令和5年から令和7年が、国が掲げる改革推進期間に充てられておりまして、各市町でも今後どうしていくかと情報交換を行います。小牧市としてその先の見通しをどう立てていくかというところが、一番大きな問題となっております。

令和5年、6年と拠点校を作って、課題と成果を洗い出しながら取り組んでいきますが、ゴールがどこかというものが無いと、今の取組も不安感があります。そのようなことを含めて、今後も議論を尽くしてまいりたいと思えます。

[高島委員]

この生徒はバスケットボール部の方は土日しか参加できないということですか。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

今の状況ですと、そうなります。

[高島委員]

普通に考えると、土日しか参加できない選手と平日も参加できる選手がいたとしたら、平日も参加できる選手が上手になっていきますね。単純に練習時間でいうと。この生徒はレギュラーになれる確率は下がってしまいますよね。

そうすると、少し躊躇する子が出てきてしまうのではないかと。結局、所属しても選手になれない。うまくなりたい、選手になって活躍したいというこどもたちは認められたいという、欲求を持っているので。

そこが、平日まで上手いくようになってくると、もっとやりたい子が出てくるのではないかと思います。

しかし、移行段階だからということですよ。

[事務局] (高堀学校教育課指導主事)

こどもたちの部活に対する活動やスポーツに対する思いも、学校ごとに機会をとらえて聞いております。

[高島委員]

移行段階ということですね。教員でしたので、いろいろ分かります。

[長尾会長]

移行期ということで逃げる訳ではないですが、部活動というのは、先程も働き方改革という言葉もありましたが、本当にいろいろな問題を持っております。

他のご意見、よろしいでしょうか。

では、8ページの「スポーツ施設の環境整備」につきまして、再度スケジュールを教えてください。

[事務局]（大橋施設運営係長）

令和4年度に設計を行い、令和5年度から工事を行っております。工期といたしましては、今年度3月末までであります。令和6年度の早い時期にオープンできるように調整をしております。

[長尾会長]

早い時期ということですね。

[長尾会長]

では、全体を通してどの項目からでも結構ですので、ご意見をお願いします。

[花井委員]

いわゆる部活動の問題は、本当に頭が痛くてですね。先生方の世界や社会が変わってきて、そのしわ寄せがこどもたちにかかってくる。色々な取組をしているところですが、日本中のどこでも成功例を私もあまり、ほとんど聞いたことがない。

今、取組の一つとして、スポーツ庁が補助金を出して採択をしている地域連携というのがあります。その核として、大学との連携もやっています。ただ、中を開いてみると、やはり平日に大学生は参加できない。そういう基本的なところが解消できない状況が全国規模であるというのが現状です。

小牧市では200何名のスポーツ指導者が登録されており、研修等もやっていますが、この内どれくらいの方が部活動の指導に携わっているのか。もし、小牧市の小中学校の部活動の中で、平日の対応ができるような状況になっていくのであれば、こういった指導者の方たちの協力を仰ぎながら、こどもが犠牲になるということの無いようなといいのかなと思いますが、これもなかなかうまくいかないと思います。

私としては、先生方に部活の分の給料をきちんと払ってというのがいいのではないかと思います。ただ、私生活もありますから土日は難しいところかと思えます。土日こそいろいろなスポーツ団体を利用すればいいと思えます。そこはお金が解決するのですが。

先生方にも、普段の業務が影響するようではいけないですが入っていただき、指導員の方たちに最低賃金ではなく、対価を支払って小牧市として子どもたちの活動場所を保障して欲しい。

相変わらず愛知県の5年生の体力は、日本で一番低い。7、8年は続いたのではないのでしょうか。そんな中で、小牧市だけの話ではないですが、色んな子たちが運動から離れて、不器用になっている。

市としてしっかり考えていただけることは、本当にありがたいと思えますが、子どもたちが関わる居場所をきちんと作っていただくことは、行政ということでお願いしたい。勝手なことを申しましたが、何とかお願いしたい。

実は私共の中部大学も、所在している地域との連携について動いているところです。しかし、スポーツ関係のところは乗り気ではない。いわゆる生涯教育の方をという流れが大きい。子どもがいつも置き去りにされている。次世代を担う子どもたちをどう育成するのか、と尋ねても某地区でもなかなか難しい、お金もつかないというような問題があります。けれども、何とか子どもたちの基礎を育てる、そういう動きがあっていただきたいと思えます。

[長尾会長]

教員が学校の目指す目的に向かって、義務教育のあり方をしっかり捉えていかないといけない。学校ですべて抱え込んできたという日本の教育の実態がありますので、真摯に考えていただきたいと思えます。

それでは、只今ご審議いただいた議事（1）「令和5年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」は、事務局案の通りとしてよろしいですか。

= 異議なし =

次の議事に移りたいと思えます。

それでは、（2）「令和6年度教育委員会基本方針重点施策について」を議事とします。事務局から説明をお願いします。

[事務局]（高橋事業推進係長）

資料2の1ページをお願いいたします。

1、小牧市教育委員会基本方針の位置付けといたしまして、小牧市教育振興基本計画との関連性を記載しております。

あらためてご説明いたしますが、教育振興基本計画は、平成29年度から令和8年度までの10年間の方向性を示しており、本市の教育が目指す方向や具体的

な施策を明らかにしております。一方、この教育委員会基本方針は、この10年間で示された施策、取組のうち、令和6年度の予算状況等を勘案して、令和6年度における重点施策を取り出しております。

教育振興基本計画が10年間という長期的なものであるのに対して、教育委員会基本方針は、単年度に実施する、より具体的な施策を示したものとなっております。

裏面の2ページをお願いします。

基本目標6「誰もが参加できるスポーツ活動の展開」でございます。具体的な取組として、スポーツ教室の開催をはじめ、5つの取組を掲げさせていただいております。

表の4つ目、パークアリーナ小牧等を活用した大会等の誘致では、小牧市スポーツ協会と連携し、Vリーグをはじめとした国内トップレベルの競技を観戦する機会を市民に提供することにより、市民のスポーツへの関心を高めていきたいと考えています。

以上簡単ではございますが、令和6年度教育委員会基本方針重点施策の説明とさせていただきます。

[長尾会長]

事務局から説明が終わりました。何かご意見・ご質問はございませんか。

[野田委員]

一番下の「スポーツ施設の環境整備」についてお聞きしたいと思います。昨今夏の暑い時期がとても長く、暑さも尋常ではありません。パークアリーナは冷房設備がありますが、南スポーツセンターの柔剣道場にはそういった設置などがなくて、それでも大会等が行われています。今後、空調の設備がないところにも、今後設置していただけるようお願いします。

[長尾会長]

要望ということをお願いします。

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

近年の猛暑の中で、冷房設備の必要性については理解しているところでございます。現状、南スポーツセンターの柔剣道場におきましては、大型の扇風機を設置して、自由に使っていただいております。他の施設でも同じような状況であります。

私共も、必要性は十分に理解しておりまして、財政当局とも話し合いを進めているところでございますが、今のところ進展していない状況であります。

[野田委員]

他市町の体育館では、令和7年度から工事開始というところがあると聞いてい

ますので、小牧市においてもお願いしたいと思っております。

[長尾会長]

他はよろしいでしょうか。

特に無いようですので、只今ご審議いただいた議事（２）「令和６年度教育委員会基本方針重点施策について」は、事務局案のとおりとしてよろしいですか。

=異議なし=

本日の議事はすべて終了いたしました。進行を事務局にお返しします。

[事務局]（藤田文化・スポーツ課長）

ありがとうございました。３．その他は特に用意がありませんので、以上を持ちまして、令和５年度第１回小牧市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。